



成年証書を受け取る6町の代表者



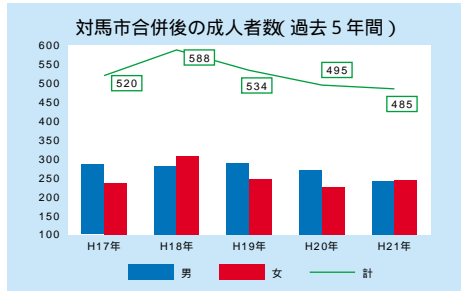
誓いのことを述べる岡田さん

新たなる門出を迎え輝く若人

対馬のDNA 485名が今、動き出す



対馬市成人式



新成人の門出を祝う対馬市成人式が1月11日、シャインドームみねで開催されました。
 今年成人式を迎えたのは、昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた485名で、昭和から平成へと20歳が移り変わる、記念すべき年となりました。式には男性178名、女性188名、合わせて366名が出席し、真新しいスーツや羽織袴、色鮮やかな着物で着飾った新成人たちが、大人への第一歩を踏み出しました。
 旧友と久しぶりの対面に喜ぶ場面も見られ、おしゃべりや記念撮影など楽しんでいました。



バッチリ撮ってね



お母さんたちも今日はカメラマン



新成人を代表し上県町の岡田さんが「訪れるであろう困難に真摯に向かい合い、自らの意思で選んだ道を信じ、21世紀の担い手として飛躍していくことを誓います」と、力強く誓いのことを述べ、会場は若いエネルギーで満ち溢れていました。

午後1時から始まった式典では、財部市長が各町代表の新成人6人に成年証書を手渡した後、皆さんを取り巻く状況は厳しいが、必ず2度、3度とチャンスが訪れる。その時に備え、日々の精進を怠らないように、これから共に島を支え合う同志としてその行動に期待しています」と式辞を述べました。



田中 理沙
(学生)

余裕を持って行動したい。
看護師になって将来は対馬で働きたい。
自然が豊かな島であってほしい。
対馬が栄えるようにしっかりとした施策をして欲しい。島を大切にしてもらいたい。



國分 祐太郎
(美容師)

これから頑張っていかななくてはいけない。
一人前の美容師になり、将来は独立をしたい。
若い人が戻ってこれる島になって欲しい。対馬の海を大切に守って欲しい。
みんなが働ける場所をもっと増やして下さい。



浅野 友梨
(学生)

実感はないけど大人としてのスタートラインに立ちました。
管理栄養士になって地元に戻って働きたい。
若者が帰って来れるような島になって欲しい。
韓国との交流も良いけど、他県との交流も盛んにして欲しい。

新成人に聞く

成人になった感想
将来の目標
こんな対馬になって欲しい
国や行政に対してひとこと



古藤 鉄平
(学生)

しっかりしなくてはならない。
中学校の教諭
人口流出に歯止めをかけ、若者で賑わう島になってほしい。
対馬の魅力を本土の人たちに知ってもらえるようなPRを展開して下さい。



神宮 未来
(学生)

もう少し大人っぽになりたい。
4月から保育士になったので立派な保育士になるよう頑張ります。
みんなが元気で笑顔の絶えない島になって欲しい。
国が対馬の状況に目を向けて真剣に取り組んで欲しい。



伊原 悠介
(学生)

まだまだ子供、これから着実に大人へと歩みたい。
金融系の仕事に就職したい。
市になって色々問題があるが、もっと賑やかな島になれば。
若者の島離れを防ぐため、働く場の確保と遊べる施設を作って欲しい。